長崎県立国見高等学校「ふるさと教育」体系図

~島原半島の魅力を知り、全国へ発信するために~ 島原半島の未来を創る テーマ 自分たちが暮らしている島原半島の歴史や自然を知り、地域と深く関わることで、島原半島への愛着を育むと共に、地域の発展に貢献 目標 したいという意識を高め、将来においても、長崎県および島原半島への関わりを持ち続けるような人材を育成する。 島原半島への 学びに向かう 育成したい 情報を発信する 関心と愛着 資質•能力 主体性や協動性 表現力やコミュニケーション能力 長崎県立国見高等学校 外部連携機関 外部連携機関 (行政機関・事業所) (大学・専門機関) 「校内推進体制」 (雲仙市、島原市、南島R 〇3市内各事業所 〇雲仙市役所企画政策課 〇長崎歴史文化博物館 ふるさと教育推進委員会 委員長(校長) 副委員長(教頭) 教務主任、進路指導主事、地歷公民科主任、 1学年主任、2学年主任、3学年主任、教務係 主な取組 〇島原半島の自然と歴史を知る (1)島原半島の世界遺産―キリシタン―の歴史を知る。 連携 南島原市 (2)島原半島の自然と災害を知る。 連携 〇島原半島の産業とその特性を知る 治協働 (1)島原半島の伝統産業を知る。 協 (2)SDGs(特に環境)に積極的に取り組んでいる企業を知る。 〇島原半島の魅力を発信する (1)全国(それぞれの地元)と島原半島を結びつける方法を探る。 (2)雲仙市役所政策企画課の助言等により課題を明確化し解決策を研究する。 〇研究成果の発表 成果 〇島原半島への関心と愛着を持つことができた。(目標値80%) 指標 〇情報を発信する表現力やコミュニケーション力が付いた。(目標値60%)

地域社会 ●産業 ●歴史 ●文化 ●地域住民(地元人材、保護者等)